

平成 30 年度（第 28 回）植物細菌病談話会のご案内

日本植物病理学会平成 30 年度（第 28 回）植物細菌病談話会を下記の通りに開催いたしますのでご案内申し上げます。万障お繰り合わせのうえ、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

会期：平成 30 年 8 月 23 日（木） 13:00～8 月 24 日（金） 12:30

会場：高知大学農林海洋科学部 5-1 教室

〒783-8502 高知県南国市物部乙 200

TEL: 088-864-5114（代表） FAX: 088-864-5200

<http://www.kochi-u.ac.jp/agrimar/>

今年の植物細菌病談話会は、真夏に、南国で、太平洋に面した高知龍馬空港に隣接する高知大学農林海洋科学部で開催いたします。Plant-Associated Bacteria の病原性・共生機構研究から現場研究、さらには、Microbiome 研究について、国内外の研究者から最新の情報を提供していただきます。

プログラム（予定）：講演者のみ氏名を記載しました。

8 月 23 日（木）

11:00～	受付
13:20～14:00	菊池 義智（産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門） 「共生微生物による害虫の進化～その多様性と機能～」
14:00～14:40	豊福 雅典（筑波大学） 「細菌のメンブレンベシクル形成機構にまつわるドグマへの挑戦」
14:40～15:20	津下 誠治（京都府立大学） 「糖を介したイネ白葉枯病菌 <i>hrp</i> 遺伝子群の発現制御」
15:40～16:20	浅井 秀太（理化学研究所 環境資源科学研究センター） 「圃場病原ゲノミクス - 土壌診断法の開発にむけて -」
16:20～17:00	池田 成志（農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業センター） 「植物共生科学の新展開と農業微生物研究におけるパラダイムシフト」
17:00～17:40	中野 亮平トーマス（Max Planck Institute for Plant Breeding Research） 「植物に普遍的なマイクロバイオータを構成する Rhizobiales 目細菌群による宿主生長・免疫の制御」
18:30～20:30	情報交換会（グレース浜すし）

8 月 24 日（金）

9:00～9:40	吉田 重信（農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター） 「 <i>Bacillus</i> 属等微生物による虫害と病害の両方に有効な生物的防除の展望」
9:40～10:20	井上 康宏（農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター） 「外部研究資金を活用したムギ類黒節病の防除手法開発」

10:40～12:20	四国サミット 座長：竹内繁治（高知県農業技術センター） 三好孝典、清水伸一（愛媛県農林水産研究所） 森 充隆（香川県農業試験場） 米本謙悟（徳島県立農林水産総合技術支援センター） 矢野和孝（高知県農業技術センター）
12:20～12:30	閉会の辞

宿泊

参加者は、用意させていただきました宿舎にご宿泊することとします。

学生の方（34名分）のために、高知大学厚生会館（相部屋、料金1,000円/泊、朝食代込）を用意しております。参加申し込み時に、厚生会館希望をお知らせ願います。

学生以外の方のために、近辺のホテル シングル67部屋（5000円/泊 朝食代別）を用意しております。参加申し込み時に、ホテル希望をお知らせ願います。会場⇄ホテルの送迎を行います。

参加申し込み

平成30年7月13日（金）までに、plantpathology@kochi-u.ac.jp（高知大学 大西）あてに、件名；植物細菌病談話会出席として、E-mailでお送りください。メールには、
①ご氏名 ②所属 ③男女の別 ④E-mail アドレス ⑤厚生会館あるいはホテル宿泊 をご記入願います。原則として、懇親会は全員参加とします。

支払

受付時に、参加費8,000円（論文集費2,000円、情報交換会費5,000円込）をお支払い願います。厚生会館宿泊者は受付時に宿泊費1,000円をお支払下さい。また、ホテル宿泊者は、チェックイン時に、ホテルへ、個々にお支払い願います。

交通機関

【飛行機を利用される場合】

高知龍馬空港から 徒歩約10分。

【JRを利用される場合】

JR 高知駅から、空港連絡バス（とさでん交通または高知駅前観光ホームページをご覧ください）で約25分「高知龍馬空港」下車、徒歩約10分

JR後免駅から、タクシーで20分（8月23日後免駅発11:30のバスを準備します）

【車をご利用の方】

高知自動車道南国インターから約20分

なお、第28回植物細菌病談話会に先立ちまして、高知大学農林海洋科学部にて、平成30年8月21日（火）13:00～8月23日（木）12:00に、第53回植物感染生理談話会を開催いたしますので、合わせてご参加願います。第53回植物細菌病談話会の要領を別途、案内させていただきます。下に、第53回植物細菌病談話会の演者と講演題目を記します。

<p>上野 大勢 (高知大学) 「植物のマンガン輸送分子機構」</p>
<p>木場 章範 (高知大学) 「リン脂質代謝による植物免疫の制御」</p>
<p>鈴木 信弘 (岡山大学) 「白紋羽病菌で繰り返られる RNA ウイルスのネオ・ライフスタイル」</p>
<p>佐々木 信光 (東京農工大学) 「ウイルス防御応答における抵抗性遺伝子 <i>N</i> のイントロンの役割」</p>
<p>志村 華子 (北海道大学) 「ラン-菌根菌共生系に影響を及ぼすウイルス探索の試み」</p>
<p>岩川 弘宙 (東京大学) 「植物の RNA サイレンシング機構」</p>
<p>峯 彰 (立命館大学/JST さきがけ) 「植物と病原体のせめぎ合いの分子ネットワーク」</p>
<p>西條 雄介 (奈良先端科学技術大学院大学) 「微生物の認識と制御を介した植物の環境適応」</p>
<p>望月 進 (香川大学) 「植物-微生物間相互作用の現場における希少糖の作用とその応用展開の可能性」</p>
<p>門田 康弘 (理化学研究所 環境資源科学研究センター) 「植物と線虫の戦いを分子レベルで紐解く」</p>
<p>上中 弘典 (鳥取大学) 「新素材と未解明の機能が拓くキチン研究の新展開」</p>
<p>飯田 祐一郎 (農業・食品産業技術総合研究機構) 「トマト葉かび病と菌寄生菌の分泌タンパク質を介した相互作用」</p>
<p>甲斐 建次 (大阪府立大学) 「青枯病菌クオラムセンシング機構のケミカルクエンチング」</p>
<p>入枝 泰樹 (信州大学) 「シロイヌナズナにおける葉緑体のダイナミクスと炭疽病菌応答への関与」</p>
<p>兵頭 究 (岡山大学) 「植物ウイルス感染がパターン誘導性免疫に及ぼす影響」</p>